

授業概要

大学が認定するボランティア活動に参加することで、社会貢献の意義を獲得することが本講義の狙いです。本講義は、どのようなボランティア活動があるのかということを受講生みずから調査し、実際のボランティア活動に参加し、社会貢献の意義を体得するために必要とされる、理念、知識、心構えなどを身につけることを目的としています。

実践したボランティア活動について、振り返りをおこなって、活動報告書を作成してもらいます。また、それぞれのボランティア活動の経験を発表し、本講義を履修した学生間で、教訓などについて共有します。

本講義は、地域貢献という観点から設定されますので、原則として、川口市におけるボランティア活動に参加してください。川口市における地域イベントでのボランティアなど、興味あるボランティア活動を調べ、参加可能なボランティア活動を、必ず大学教務課に届け出て、認定を受けてください。

授業計画

第1回	ボランティア活動とはなにか
第2回	経済のグローバル化とボランティア
第3回	ローカル化とボランティア
第4回	どのようなボランティアがあるか（1）
第5回	どのようなボランティアがあるか（2）
第6回	ボランティア活動の計画作り（1）
第7回	ボランティア活動の計画作り（2）
第8回	ボランティア活動の中間報告（1）
第9回	ボランティア活動の中間報告（2）
第10回	ボランティア活動の中間報告（3）
第11回	振り返りと教訓（1）
第12回	振り返りと教訓（2）
第13回	活動報告書の作成
第14回	ボランティア活動の発表（1）
第15回	ボランティア活動の発表（2）
第16回	レポート

到達目標

ボランティア活動の実践をおこなうために必要な理念、知識、心構えなどを習得してもらいます。みずから、ボランティア活動の状況を調査し、ボランティア団体との打ち合わせなどをしてもらいます。ボランティア活動に参加することによって、人間同士助け合うことや社会貢献の重要性を身につけます。

履修上の注意

講義の一環として、ボランティア活動に参加してもらいますので、学生が全員加盟している学生教育研究災害傷害保険が適用されます。ただし、そのためには、ボランティア活動の実践先や日程などを大学に届け出て、承認を受けなければなりません。

予習復習

事前調査や実態についての勉強をしっかりとおこない、講義後にそのつど復習をしてください。

評価方法

全講義数の三分の二以上の出席が単位取得の条件となります。30分までの遅刻は、2回で1回の欠席とみなします。

ボランティア活動の実践状況(50%)、振り返りや活動報告書(30%)、発表(10%)、レポート(10%)などから総合的に評価します。

ボランティア実践Ⅰの単位を取得するには、土曜日・日曜日・祝日など他の講義に差し支えない日を選んで、30時間以上のボランティア活動が必要です。

テキスト

テキストは使用せず、適宜、資料を配布します。